



おまち

Vol.
144

2024. 9. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



令和6年6月23日(日)にオープンしたエアリススケートパーク太田



目指せ金メダル！新たなコミュニティー×アーバンスポーツ！

- ストリートスポーツから新たな賑わいとつながりを生み出す
エアリススケートパーク太田 OPEN ♪
- ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

【投稿】 桐生市「まちなか交流館」オープン～桐生新町重要伝統的建造物群保存地区～

【トピックス】 前橋市が「全国街路事業コンクール 特別賞」を受賞！
～都市計画道路県庁群大線整備事業～

- 【マーチィ'sROOM】 ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
●マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介
●マーチィの掲示板 令和6年度群馬県まちづくり功労者表彰
●マーチィの独り言

【まちづくりイベント情報】 ●県内で行われるイベントの紹介



ストリートスポーツから新たな賑わいとつながりを生み出す エアリススケートパーク太田 OPEN♪

群馬県 都市計画課（取材協力 太田市 まちづくり推進課）

東京オリンピックから正式種目として採用され、近年益々注目を集めているストリートスポーツである「スケートボード」。
先日行われたパリオリンピックでも日本代表選手が金メダル2個・銀メダル2個獲得し、国内のみならず世界中を熱狂させた若い世代の躍動は今なお記憶に新しいところでしょう。

そんなオリンピック前夜の7月中旬に、群馬に新たに誕生したスポーツまちづくりの拠点である「エアリススケートパーク太田」をまっちい〜ずで取材させていただきました。

■ エアリススケートパーク太田とは？

エアリススケートパーク太田は、6月23日に太田市で開業した北関東最大級の3,000㎡規模のスケートボード場であり、スケートボード・BMX・インラインスケートなどのアーバンスポーツが楽しめる新たなスポットです。

名前の由来は、近隣に整備中の公共施設にちなんでおり、「風通しが良い」を意味する「エアーリー」と、「空間」を指す「スペース」を組み合わせた造語「エアリス」から来ています。

利用者登録を行い、1日券を購入して利用する施設ですが、なんと、OPEN記念のキャンペーンで9月30日(月)まで無料で利用できます。(太っ腹ですね！)



エアリススケートパーク太田 俯瞰写真

(ここからは、Q&A方式で紹介します。) ※以下、Qは、まっちい〜ず Aは、太田市まちづくり推進課

■ エアリススケートパーク太田 現地取材

Q：施設はどういったイメージで整備されたのですか？

A：施設の整備にあたり、関東近郊の先進事例はほとんど視察させていただきました。

そういった先行事例を参考としながら、地元愛好家の方々(現：太田市ストリートスポーツ協会の方々等)と協議を重ねてレイアウトが決定しました。公認の大会仕様でなく、幅広い方に楽しんでもらえるよう全体的に少し優しめのレイアウトとしています。

ただ、そのなかでも一部オリジナリティを残したいとの意見があったことから、目玉として「3mの高さのクォーター(壁)」を設置しています。なお、当施設は白を基調としたシンプルなデザインにしています。



6月23日 オープニングイベントの様子

Q：現在、オープンしてから約1ヶ月経過していますが、利用状況はいかがですか？

A：ありがたいことに、ほぼ毎日予約でいっぱいとなっています。利用者の方のうち最も多い年齢層は小学生となっています。当施設は4歳以上からご利用いただけますが、オリンピックをはじめ若い世代の方の活躍が裏付けられた印象です。また、その次に多い年齢層は40代後半から50代になっているので、その世代のお子様が一緒ににはじめられているのではないかと感じています。なお、現時点で、想定以上の940人に利用登録していただいています。

営業は21時までですが、利用者数のピークは17時～19時頃となっています。



当日は、35度を超える暑い中でしたが、10数人のスケートボーダーが楽しんで利用していました。

生で見ると、スピードを出してカベを滑っている様子は、迫力があり、見ていだけでも面白かったです!! (まっちい〜ずには到底マネできませんでした・・・)



「初心者向け」だけでなくオリジナリティも残そうという考えから、名物となる3mのクォーターが設置されています。左の写真を見てもらえば分かるように、人の倍の大きさのクォーターは迫力があり、現地で見ると正直怖いくらいでした。

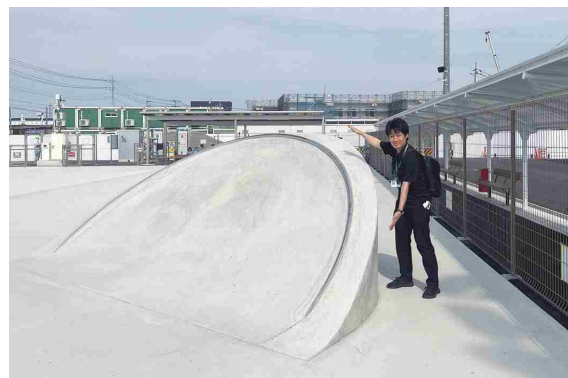
練習していたボーダーの方々は、むしろその高さを楽しんでいる様でした。

※現地のイケてるボーダーの方に写真に協力いただきました。快くご協力いただきありがとうございました！

Q：何か、この施設の整備・運営について工夫したところはあるですか？

A：全国的に公共施設が縮小される傾向にあるなかで、「多くの愛好家の方の思いが沢山詰まっている当施設だけは、未永く運営していきたい」という強い思いからはじまりました。具体的には、整備に要する初期コストだけでなく、維持管理運営コストも含めたトータルコストをいかに抑えるかを意識しました。その一つとして、最も経費の係る人件費削減を目的とした「係員を常駐させない運営」にチャレンジしています。通常のパークでは導入されていない「予約」を取り入れたこともその一つです。利用者の方には大変お騒がせしておりますが、ご意見やご要望などを一つ一つ整理しながら、より利用しやすい施設となれるよう引き続き改善していきたいと考えています。

他にも、下写真のような、人よりも大きいアイテムが置いてあったり、練習できるアイテムがもりだくさん！



Q：ネーミングライツを活用せずに整備しているのも大きなポイントだと思うのですが、いかがですか？

A：特定の事業者のカラーを出すのではなく、あくまでもフラットな公共施設として位置づけたいという思いから、あえてネーミングライツは採用していません。

一方で、何か収益を生み出す方法はないか検討したなかで、当施設の法面やフェンスを活用した広告スポンサーを募集することとしました。その結果、想定以上に多くの事業者の方にスポンサーとして入っていただき、年間200万円程度の広告収入を得ています。現在設けている19枠は全て埋まっています。本当に感謝しかありません。

Q：安全管理のポイントはどのようにですか？

A：運営側としては、例えばヘルメット等の防具着用をお願いしたり、未就学児の方が利用される際に18歳以上の方の付添(入場)をお願いしていますが、どうしても、全てのプレーは原則自己責任となることにご承諾をいただいております。そのなかでも、行政としてできることとして、もしもの時に119通報を促す看板を掲示したり、AEDを設置しています。また、何かトラブルが発生した際の状況が確認できる防犯カメラや施設外で観覧されている方が緊急時のみ入場できる扉を設置しています。

■ 最後に

太田市の熱意のある担当様が色々な角度から試行錯誤して、現在の施設が作り上げられたのがよくわかった取材でした。施設は老若男女問わず利用されており、太田市における新たな賑わいを生み出すスポットが誕生したのを肌で感じました。そう遠くない未来に、新たな日本代表がこの太田から誕生する日が来るかもしれません。

取材に快くご協力いただいた太田市まちづくり推進課の今泉様、また、当日協力してくれたボーダーの皆さん本当にありがとうございました！！





ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県建設技術センターの協賛のもと、群馬県都市計画協会と群馬県が共催し「ぐんま“まちづくり”ビジョン シンポジウム」が令和6年7月26日(金)、群馬会館にて開催されました。

今年度は「交通とまちづくり」をテーマに掲げ、和歌山大学経済学部 辻本勝久教授の基調講演が行われ、県内の取り組み紹介として群馬県知事戦略部交通イノベーション推進課が事例発表を行いました。

基調講演『住み続けられるまちづくりのために～持続可能な交通をつくる責任、つかう責任～』

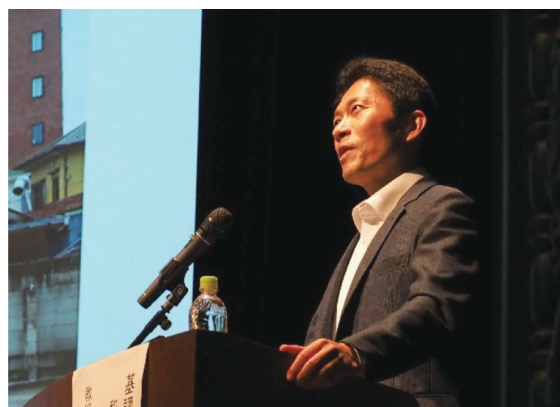
国内において人口減少と交通機関を担う人手不足が進行する中、日常生活や社会経済活動を支える地域公共交通をどのように維持するのが課題となっています。

今回はSDGs時代に沿った交通まちづくりに関する内容となっており、はじめに、持続可能な世界を実現するために2030年までに達成すべき目標やターゲットが掲げられたSDGs(持続可能な開発目標)について説明がありました。「誰ひとり取り残さない」をキーワードに様々な場面において、「環境」「社会」「経済」の3つの側面に配慮した行動が目標とされ、交通分野に関してもご多分に漏れず、目標達成に向けた取組が求められているとのことでした。

その後は群馬県と他の都道府県比較し、群馬県の公共交通の現状を分析した上で、「環境」「社会」「経済」それぞれの視点から考える群馬県の交通について、お話しいただきました。

最後のまとめとして、車に過度に依存したまちづくりは持続可能ではなく、住み続けられるまちづくりにはメリハリある土地利用や適度な車利用・環境への配慮が必要で、人と環境に優しく、まちに賑わいをもたらす交通体系をつくり、そしてつかうことが求められていると説明されていました。

今回の基調講演は持続可能なまちづくりのためにすべきこと、できることについて考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。



辻本勝久教授

事例発表『こどもデマンド渋川の取組について』

群馬県では「GunMaaS」を活用し、地域の様々な社会課題の解決を目指し、県内市町村と連携した取組が行われています。今回は令和6年3月1日から3月31日まで行われた「こどもデマンド渋川」について、群馬県知事戦略部交通イノベーション推進課・高橋主幹に発表いただきました。

こどもデマンド渋川は、保護者の送迎負担の軽減や送迎が可能になることによる教育機会の創出、部活動の地域移行に伴う移動の確保へのアプローチとして実施され、GunMaaSでチケット購入や配車予約ができることやAIによる効率的な配車、事前購入により車内での現金のやり取りがないこと、児童の乗降車時に保護者へ通知が行くなどの特徴があります。

1ヶ月間の社会実証を終え、利用状況や利用者の声をもとに分析すると、事業継続性の観点や運行エリア、運行時間などの課題が見えてきたそうです。

継続を望む声もある一方で経費や運行に関する課題があり、今後は住民、タクシー事業者、行政の三方にとってより良い効果的なサービスへ改善し、渋川市での早期の再開や、県内他地域への展開を見据えているとのことでした。

保護者や子ども、地域にとっても良いサービスへ磨かれ、社会実装に繋がるような取組になることを願っています。



事例発表の様子



桐生市「まちなか交流館」オープン ～桐生新町重要伝統的建造物群保存地区～

桐生市 産業経済部 日本遺産活用室

■ はじめに

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区(以下「重伝建地区」)は、町立て当初からの敷地形態と共に、当時から生産が行われ、近代の桐生を代表する産業となった絹織物業を中心に発展した町です。

江戸後期から昭和初期に建てられた母屋や土蔵、ノコギリ屋根の工場など、絹織物業に係る様々な建造物が一体となり、製織町として特色ある歴史的な環境を今日に伝え、桐生を示す象徴的な地区として平成24年7月9日に重伝建地区に選定されました。

■ 「まちなか交流館」開館について

重伝建地区の拠点となる施設として、桐生市重伝建地区公開活用施設「まちなか交流館」が7月9日(火)に開館いたしました。

「まちなか交流館」は重伝建地区で活動する人や訪れる人たちの様々な活動、情報発信の場となるよう「使って、みせる建物」をコンセプトに、建物の魅力を伝える施設です。

- ・ 見る・・・伝統的建造物の外観・庭の佇まい・建物内部や修理方法などが見学ができます。
- ・ 知る・・・重伝建地区や桐生市の観光情報に関する情報発信をするほか、季節ごとに企画展示を行います。(現在の企画展示「“ジュウデンケン”って、なに？」9月30日(月)まで)
- ・ 交流する・・・座敷・奥座敷・会議室や多目的広場は有料で貸し出しを行います。多目的広場では、キッチンカーの出店などもできます。
- ・ 相談する・・・保存地区内の建造物の修理・新築・補助金などの相談を受け付けています。



外観



オープニングセレモニー



中庭



奥座敷・座敷

■ おいでよ！桐生新町重伝建地区 重ね捺しスタンプラリー

日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の魅力を知らいただくため、構成文化財の1つである「桐生新町重伝建地区」を中心としたスタンプラリーを開催しています。台紙に専用のスタンプを重ねて押すことで絵柄を完成させることができます。

- ・ 期間・・・7月11日(木)～9月30日(月)まで
- ・ スタンプラリースポット・・・①まちなか交流館②有鄰館③桐生天満宮④ベーカリーカフェレンガ⑤アースケア桐生が岡遊園地

■ おわりに

重伝建地区内では、群馬県の事業として本町通りの電線の地中化や車道の石畳風舗装整備なども行われます。今後も町並み保存及び活用も含めて、歴史まちづくりに取り組んでまいります。

重ね捺しスタンプラリースポットには、まちなか交流館も含まれていますので、ぜひ、重伝建地区及びまちなか交流館へお越しください。





前橋市が「全国街路事業コンクール 特別賞」を受賞！ ～都市計画道路県庁群大線整備事業～

前橋市 都市計画部 市街地整備課

■はじめに

令和6年6月13日東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにて「第36回全国街路事業コンクール」の表彰式が行われ、前橋市が施行した「都市計画道路県庁群大線整備事業」が特別賞を受賞しました。

■全国街路事業コンクール

全国街路事業コンクールは全国街路事業促進協議会が「街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰し、望ましい街路事業の推進と整備基準及び技術水準の向上を図ること」を目的として、国土交通省の後援を受け実施しているものです。今回、全国の地方公共団体より推薦された街路事業の中から、本事業を含む7事業が審査委員会の厳正なる審査を経て表彰されました。

■都市計画道路県庁群大線

県庁群大線は群馬県庁と主要地方道前橋箕郷線を結ぶ都市計画道路で、本事業は主要地方道前橋安中富岡線から北側約600m区間を整備したものです。整備区間は既成住宅地域内の非常に狭隘な道路であり、通学路の安全確保と道路ネットワークの強化を主な目的として、歩道整備や無電柱化等の道路改良を実施しました。

本路線の特徴としては路線の一部が風致地区に含まれ、沿線に前橋公園や臨江閣などの施設がある他、前橋市の代表的な河川である広瀬川を横断していることが挙げられます。



都市計画道路県庁群大線



臨江閣と群馬県庁

■歴史的景観に配慮した整備

事業の施行に伴い大正時代に造られた橋梁などの再整備が必要となりましたが、材料等の再利用・再活用をできる限り行うと共に、新設する構造物のデザインについては当時の意匠を踏襲することで、地域の歴史的景観の継承に配慮しました。一例としては広瀬川にかかる石川橋の架け替え工事において3Dモデルを作成し、デザイン検討やコントロールポイントの確認などを効率的に行うことで、バランスのとれた新橋を整備することができました。また、前橋市で最初に造られた鉄筋コンクリート橋である旧橋については、取り壊し前に3次元レーザー測量を実施し、歴史的土木構造物としてデジタルアーカイブ化を行いました。

■表彰理由(審査委員会コメントより抜粋)

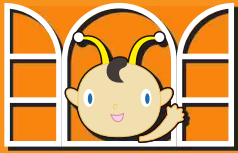
前橋公園や臨江閣など歴史的施設が沿線にある中、大正時代に造られた歴史的な橋梁や地下道の保全に努めつつ、街路として必要な機能を併せ持つ形で整備されている点が高く評価された。これらの再整備では現場見学会の開催や既存のデザイン踏襲に努めるなどの工夫をしながら事業が進められており、市民が歴史を感じられ地域に愛され続ける街路となっていくことを期待したい。



広瀬川にかかる石川橋



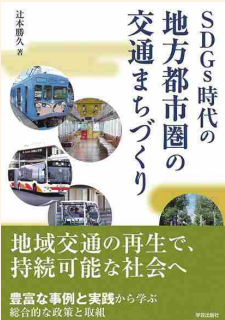
前橋公園のめがね橋(地下道)



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
「SDGs時代の地方都市圏の交通まちづくり」 著 辻本 勝久(学芸出版社)



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら！



皆さんは、「交通とまちづくり」というワードを聞いて具体的にどのような関連を持っているかをイメージできますでしょうか？(正直、あまりイメージできないのではないのでしょうか？)シンポジウムでも講演いただいた辻本教授が書かれたこの本は「SDGs」というキーワードを入り口としながらも、交通とまちづくりの関係性や望ましいあり方などについてわかりやすく平易な文章でまとめられています。

欧州における地域公共交通の概念と日本におけるそれが大きく異なっていること、運輸連合という仕組みについては、日本にも取り入れても良い考え方ではないかと思いました。

自分が特におすすめなのが、「第6章 コンパクト・プラス・ネットワーク」の部分で、コンパクトシティ施策を考える上で、地域公共交通のあり方をより重視して考える必要性があることに気づきました。

こちらの本では欧米の事例や日本各地の事例を多く紹介しているため、シンポジウムに参加された方でも十分に楽しめる内容となっております。是非とも読んでみてください！

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

株式会社アイ・ディー・エー 石田 哲保



(株)アイ・ディー・エー 石田さん

おっ!!まちい〜をご覧の皆様、こんにちは。私は元県庁職員で現在は(株)アイ・ディー・エーに勤務し、都市計画・まちづくり・官民連携等を担当している石田(現57歳)と申します。県都市計画課に所属していた際には、ファシリテーター養成講座等で県内市町村職員等の沢山の方々に大変お世話になり、この場をお借りし感謝申し上げます。

現在、地元群馬でまちづくりに関わる仕事に携わり、地域活性化に繋げるにはどうすれば良いのかを考える日々を過ごしています。

地域活性化という言葉に出会い学び始めたのは、県の研修制度による高崎経済大学院地域政策研究科での2年間になりますが、地域活性化を目指す上での理想と現実の壁の大きさを常に感じています。今後、少しでも地元群馬の地域活性化に貢献できるよう努力していきたいと考えているところです。

さて、弊社では地域貢献に繋がる取り組みの一つとして、今年4月から県が管理する「ぐんまの森」の指定管理者となっています。「ぐんまの森」は令和6年で開業50周年を向かえ、その記念イベントを以下のとおり開催しますので、是非、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

■日 時：10～12月週末を中心に複数回実施します。 ■場 所：県立公園群馬の森(アイ・ディー・エー群馬の森)

■概 要：(予定)マルシェ、工作教室、eスポーツ、スローモビリティの社会実験、群馬の森の歴史・自然探訪、天体観望会、記念植樹など

マーチィの掲示板

令和6年度群馬県まちづくり功労者表彰

■受賞者 秋山 麻紀様(まきばプロジェクト主宰)

群馬県では昭和60年から「群馬県まちづくり功労者表彰」を実施しております。

表彰では、魅力あるまちづくりの推進に努め、顕著な功績のあった民間の団体、個人及び市町村に対して、知事から感謝状をお贈りしています。

今年度の表彰においては、平成27年にまちづくり団体「まきばプロジェクト」を立ち上げ、多彩なイベントを年間20回程度開催し市民に豊かな時間や空間の提供を行う等、市の地域活性化やまちづくりに尽力されている秋山 麻紀(あきやま まき)様が受賞されました。

秋山様は県内各所で様々なイベントを企画・運営され、年間100件以上のイベントの実施やセミナー等に関わっており、群馬県内を広く盛り上げ、地域の活性化に資する活動を継続的に行っています。



まきばプロジェクト主宰
秋山 麻紀様

マーチィの独り言



暑い!!!今年の夏!!!マーチィ、特に気温が高い日は溶けてグリルされているような気分で、室内に引きこもる時間が増えてしまいました。皆さんはどう乗り切りましたか？

そんな中、今回はスケートパークに取材に行ってきました。暑さをものともせず、カッコイイ技を繰り広げる皆さんを見て感動！テレビをつけるとパリオリンピックで白熱した戦いが繰り広げられていて、運動オンチなマーチィもちょっと体を動かしてみたくなくなってきました！足が短めなマーチィでも楽しめるおすすめのスポーツがあったら是非教えてください。

まだまだ暑い日が続くかもしれません。熱中症にはくれぐれも気をつけて、スポーツの秋を楽しみましょう！



沼田市 観光りんご園 オープン

群馬県内一の生産地。沼田市の糖度の高いりんごをお楽しみください。
 ■9月初旬(予定)～11月下旬頃まで
 ■沼田市内観光りんご園
 【お問い合わせ先】
 (一社)沼田市観光協会
 TEL 0278-25-8555



沼田市 観光ぶどう園 オープン

山間部特有の夜に気温が下がる特性から、着色が良く糖度の高いぶどうが収穫できます。ジューシーな旬の味覚を味わえます！
 ■8月26日(予定)～10月中旬頃まで
 ■沼田市内観光ぶどう園
 【お問い合わせ先】
 (一社)沼田市観光協会
 TEL 0278-25-8555



北群馬郡の魅力を再発見！「しんとう・よしおか しんきちマルシェ」

地域事業者等による物販や体験ワークショップ、キッチンカーが出店します。地域団体が出演するステージイベントもあります。
 ■9月21日(土)10:00～16:00まで
 ※ステージイベントは、11:00～15:00まで
 ■しんとうふるさと公園(北群馬郡榛東村大字山子田1920-1)
 【お問い合わせ先】
 榛東村産業振興課
 TEL 0279-54-2211
 吉岡町産業観光課産業振興室
 TEL 0279-54-3111



2024東吾妻ふるさと花火「ふるさとに咲く大輪の花」

間近で鑑賞できる花火は大迫力！キッチンカーやワークショップもあります。ぜひお越しください。
 ■9月21日(土)開場15:00
 花火打ち上げ19:00～30分程度
 ■東吾妻町スポーツ広場
 【お問い合わせ先】
 東吾妻ふるさと花火実行委員会事務局
 (東吾妻町まちづくり推進課内)
 TEL 0279-68-2111



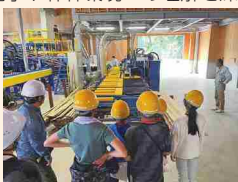
めまた市産業展示即売会

沼田市の生産品、工芸品など「沼田の良きもの」を多数集めて即売会を行います。
 ■10月12日(土)、13日(日)
 12日10:00～16:00
 13日10:00～15:00
 ■沼田公園グラウンド
 【お問い合わせ先】
 沼田市産業振興課
 商工振興係(内線5005)
 TEL 0278-23-2111



【森の学校】森林環境教育社会人向けプログラム 林業や森林に触れながら、環境について考えるきっかけを作ろう！

木材活用センターを拠点に間伐体験、伐採現場の見学や森林環境への理解を深めるワークショップを実施します。
 ■10月12日(土)10:30～16:00
 ■中之条町木材活用センター
 〒377-0542
 群馬県吾妻郡中之条町下沢渡964-1
 【お問い合わせ先】
 TEL 080-6287-9095
 Mail: nakanojo.connect@gmail.com



第30回富岡どんとまつり

富岡市の一大イベントとして、山車・お囃子、子供こしやおどり流しなど盛りだくさんの内容で開催予定です。
 ■10月19日(土)～20日(日)
 19日12:00～21:00/20日10:00～21:00
 ■富岡市街地
 【お問い合わせ先】
 一般社団法人富岡市観光協会
 TEL 0274-62-6001



中之条町 第16回りんご祭り

旬のりんごの販売のほか、りんご皮むき、りんごピラミッドの重さ当て等のイベントを開催する予定です！
 ■10月20日(日)9:00～15:00
 ■中之条ガーデンズ前道路 特設会場(歩行者天国)
 【お問い合わせ先】
 中之条町役場 農林課 農業振興係
 (中之条町果樹研究会事務局)
 TEL 0279-75-8844



群馬県民の日記念事業 選べる天然石のプチチャーム付き 「ボタニカル・サシェ作り」

ソイワックスに押し花を練り込み、「ボタニカル・サシェ」を作成します。また、石を選べる「天然石のチャーム」も作ります。気分に合わせて、ネックレスやブレスレットに変えて使えます。
 ■10月19日(土)
 ①10:00～11:00 ②14:00～15:00
 ■県立敷島公園管理事務所2階会議室
 【お問合せ・お申し込み先】
 県立敷島公園管理事務所 担当:船津
 メール:funatsu-ys@oriental-gunma.com



とみおかプレーパーク

プレーパークは子どもが自然や人と触れ合いながら、自由に遊ぶ体験を通して、「生きる力」が育つ冒険あそび場です。小さな子からおじいちゃん・おばあちゃんまで、みんなで遊びに来てください。
 ■10月27日(日)10:00～15:00
 ※荒天中止
 ■もみじ平総合公園
 【お問い合わせ先】
 富岡市役所こども政策課
 TEL 0274-62-1511(内線:1119)



総合建設コンサルタント

株式会社 アイ・ディー・エー

I.D.A

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開

企業理念(STEP)



官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。

群馬県高崎市倉賀野町4221番地13
 TEL 027-384-6600
 FAX 027-384-6601
 URL: https://www.ida-web.jp



県立公園アイ・ディー・エー群馬の森
 指定管理者 (令和6年度～)

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html

